



# 12月 ももぐみだより

2020年12月発行  
社会福祉法人尚徳福祉会  
おぐら保育園



舞い散る枯葉や冷たい風に、本格的な冬の訪れを感じるこの頃。今年も瞬く間に過ぎていき、あっという間に今年最後の月になりました。クリスマスやお正月と、何かと忙しい一カ月を迎えますが、子どもたちにとっては一番楽しみな時期かもしれませんね。子どもたちと一緒に何かやり残したことはないか振り返ってみようかと思えます。

## 秋の制作

公園で拾った落ち葉を使って、そこから毛糸をつけたり顔を描くと可愛いミノムシが完成！「公園で拾ったんだよね！」とお友だち同士で盛り上がっていました。

トンボでは、自由にクレヨンで描いた後、好きな色の絵の具を筆で塗る事に挑戦！以前はのりを付けすぎて手の平をベタベタにして困っていたのが、今では指先を使って量を考えようとする事ができるようになってきました。可愛いお目目も自分でペンを使って描いたものです♪ペンを持つ姿も中々に様になっていましたよ！

## 色んな公園

何回かお散歩に行くうち少しずつ慣れてきて、歩くスピードも安定し、お友だちと一緒に上手に手を離すことなく歩けるようになってきました。最初は徐々に距離を伸ばす事から始めていたのが、今では「なかよし公園」「下町公園」「東小倉公園」など、色んな公園に行けるようになってきました。

公園で遊び終え、帰る時に「まだ遊びたい〜！」「イヤだ、イヤだ〜！」と、寒くなってきた中でもまだまだ元気な子どもたち。どうやったらたくさん遊べるのか、一緒に考えようともしてくれ、「じゃあ、お仕度早く出来たらもっとたくさん遊べるね」と提案すると納得して張り切ってくれます。



## おやさい大臣！

「今日のお野菜大臣は誰かいるかな〜？」と声をかけると僕も！私も！と言わんばかりに自分から進んで一口パクッとチャレンジ！

見た目では食べれなかった子も苦手で食べれない子も、お友だちの頑張る姿や褒められる姿を見て挑戦しようとする姿が見られるようになってきました。

「見て見て〜！ピッカリ〜ン！」と言って、完食できる子も増えてきました！子どもたち一人一人の頑張りにみんなで拍手！みんなから拍手をもらってとても喜んでいきます。お家でもそういった頑張りを沢山褒めてあげてください。



## 衣服の調節

寒くなってくるとつい厚着にさせてしまいがちですが、2〜3歳の今は大人より1枚少ないくらいでよいと言われています。またヒートテックや裏起毛素材は汗を吸わないため、肌着は出来れば綿素材をお勧めします。厚手の1枚より、薄手の重ね着の方が動きやすく暖かいです。

